

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【公開番号】特開2012-34022(P2012-34022A)

【公開日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2012-007

【出願番号】特願2010-169474(P2010-169474)

【国際特許分類】

H 04 N 5/76 (2006.01)

H 04 N 5/93 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/76 A

H 04 N 5/93 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月27日(2013.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

映像音声データを記録する記録手段と、

記録する映像音声データの変移点を検出する変移点検出手段と、

前記変移点検出手段によって検出された変移点に基づいて映像音声データの特徴区間を検出する特徴区間検出手段と、

前記特徴区間検出手段によって検出された前記特徴区間の位置情報を保持する特徴区間位置情報保持手段と、

前記変移点検出手段によって検出された変移点に基づいて擬似変移点を発生する擬似変移点発生手段と、

前記記録手段に記録された映像音声データを任意の再生開始位置から再生する再生手段とを備えた映像音声記録再生装置。

【請求項2】

擬似変移点発生手段は、変移点検出手段が検出した最新の変移点の時間情報を元に、規定された経過時間内に前記変移点検出手段が次の変移点を検出しない場合に、擬似変移点を発生することを特徴とする請求項1記載の映像音声記録再生装置。

【請求項3】

特徴区間が、コマーシャルメッセージ区間であることを特徴とする請求項1記載の映像音声記録再生装置。

【請求項4】

規定された経過時間が、コマーシャルメッセージ区間の最大長さ以上ことを特徴とする請求項2記載の映像音声記録再生装置。

【請求項5】

規定された経過時間が、コマーシャルメッセージ区間の長さと一致していないことを特徴とする請求項2記載の映像音声記録再生装置。

【請求項6】

規定された経過時間が、周期的であることを特徴とする請求項2記載の映像音声記録再生装置。

【請求項 7】

擬似変移点が、変移点検出手段で検出された変移点と識別するための識別子を有することを特徴とする請求項1記載の映像音声記録再生装置。

【請求項 8】

映像音声データを記録する記録ステップと、

記録する映像音声データの変移点を検出する変移点検出ステップと、

前記変移点検出ステップによって検出された変移点に基づいて映像音声データの特徴区間を検出する特徴区間検出ステップと、

前記特徴区間検出ステップによって検出された前記特徴区間の位置情報を保持する特徴区間位置情報保持ステップと、

前記変移点検出ステップによって検出された変移点に基づいて擬似変移点を発生する擬似変移点発生ステップと、

前記記録ステップに記録された映像音声データを任意の再生開始位置から再生する再生ステップとを備えた映像音声記録再生方法。

【請求項 9】

擬似変移点発生ステップは、変移点検出手段が検出した最新の変移点の時間情報を元に、規定された経過時間内に前記変移点検出手段が次の変移点を検出しない場合に、擬似変移点を発生することを特徴とする請求項8記載の映像音声記録再生方法。

【請求項 10】

特徴区間が、コマーシャルメッセージ区間であることを特徴とする請求項9記載の映像音声記録再生方法。

【請求項 11】

規定された経過時間が、コマーシャルメッセージ区間の最大長さ以上ことを特徴とする請求項9記載の映像音声記録再生方法。

【請求項 12】

規定された経過時間が、コマーシャルメッセージ区間の長さと一致していないことを特徴とする請求項9記載の映像音声記録再生方法。

【請求項 13】

規定された経過時間が、周期的であることを特徴とする請求項9記載の映像音声記録再生方法。

【請求項 14】

擬似変移点が、変移点検出手段で検出された変移点と識別するための識別子を有することを特徴とする請求項8記載の映像音声記録再生方法。